

やすらぎの里で働き始めて1年！振り返ってみて…



やまがた認証介護事業者

人事担当者が取材しました



令和7年採用(生活相談員)



人事担当者



みんなの「生きる」を
社会福祉法人



やまがた
健康企業宣言

Q：この仕事について「きっかけ」は？

心理学を勉強したいと進学した学校で、高齢者福祉が「一番自分に合うと感じたこと」と、「働いているイメージが浮かんだこと」が、きっかけです。

在学中、東京で一人暮らしをしている母方の祖父が骨折したことで、家族の為に在宅のサービスにかかわる仕事をしながら祖父の近くに住みたいと、東京のデイサービスに就職しました。その後、祖父が亡くなり、しばらくは東京で働いていたのですが、山形に帰省した時に父方の祖母が私のことがわからなかったことが、とてもショックでした。

子供の時にかわいがってくれた祖母の傍にいようという思いと、社会福祉士を取得するために一度仕事に区切りをつけ勉強したいと、山形にUターンしました。

Q：生活相談員として大切にしていることを教えてください。



相手の立場になって考えることを意識しています。不安を抱え相談に来られるご家族さまや、困り事が多いご利用者さまの思いに寄り添い、少しでも安心していただけるよう努めています。

やすらぎの里が初めての入所系施設なので毎日が新鮮です。覚えることも多く大変だと感じることもありますが、生活相談員の先輩職員や、皆さんに支えられながら、この1年、多くの学びを得ました。

Q：リフレッシュする為に、休日はどのように過ごしていますか？

趣味の旅行や、友達と遊んだりしてリフレッシュしています。

卒業旅行でフィリピンのセブ島に行った時は、日本とはまったく違う文化を初めて経験して衝撃を受けました。その時、ジンベエザメと泳いだのですが、数が少なく残念な思いをしました。今度こそはと、2度目のセブ島で、6頭近いジンベエザメと泳いだことは楽しい思い出です。

